

3月16日～31日の国内外外国為替市場動向

	為替市況	主要経済指標など	主要発言など	為替レート		
				ドル円	ユーロ円	24H
07/03/16 (金)	東京市場は株価にらみの展開。その株価が下落したことで円キャリーの巻き戻し思惑強まる。欧米は全体的に強い米経済指標を受けたドル買いも見られたが続き、終盤は米株安に押される。	・第3次産業活動指数1.6%、1月の景気先行指数改定値40.9 ・2月の米CPIは0.4%、同鉱工業生産1.0%、同設備稼働率82%、3月シカゴ大消費者信頼感指数88.8	・豪中銀総裁「最近のインフレ亢進の可能性あり」	117.15 117.25 116.51 116.70	155.59 155.87 155.22 155.43	寄付 安値 高値 終値
07/03/19 (月)	東京は中国利上げを受け円高で寄り付いたものの、始まると流れは一変。原簿事故報道も円売りに寄与。欧米は円が独歩安、NYダウなど米株が100ドルを肥える上昇となったことで再び円売り安心が台頭。	・中国が政策金利を0.27%引き上げ(17日) ・中国電力浜岡原発でかつての制御棒抜け落ち事故が発覚 ・3月の米NAHB住宅市場指数36	・クリシヤ中銀総裁「ECBの金利はビーク付近ではない」 ・周中国人民銀総裁「ドル下落は中国経済に大きな影響はない」	116.41 117.77 116.40 117.53	155.02 156.59 155.01 156.35	寄付 安値 高値 終値
07/03/20 (火)	東京は円が続落。日銀会合や総裁会見もほぼ予想の範囲内で失望売りなどを誘った。欧米は米サブプライムローン問題や周発言を受けてドルが湧かない。ドル/円一時1円以上値を下げた。	・日銀が金融政策の据え置き決定 ・2月の米住宅着工件数152.5万戸 ・米サブプライムローン貸出し業者のひとつが米破産法11条の適応申請 ・著名米情報社が「ECBは6月以降利上げ休止」のレポート送信の噂	・福井日銀総裁「CPIは2月から3月にかけて若干マイナスの可能性」 ・周中国人民銀総裁「中国は外貨準備を一段と積み上げる意向ない」	117.62 118.02 116.92 117.29	156.59 156.97 155.60 156.21	寄付 安値 高値 終値
07/03/21 (水)	東京休場のアジアタイムはおおむねレンジ。しかし夕方にかけて欧州勢の仕掛けからユーロが一段高。欧米はハ派となったFOMC声明を嫌気したドル売り優勢。ユーロドルは実に2年ぶりの高値をつけた。	・BOE議事録「金利据え置きは8対1での決定」 ・米国が金利の据え置きを決定、FOMC声明は「将来の政策変更はインフレと経済の見通し次第」とややハ派な内容に	・ECB総裁「最新の経済データは堅調な経済成長を示唆」	117.26 117.95 117.15 117.55	156.13 157.47 156.05 157.34	寄付 安値 高値 終値
07/03/22 (木)	東京は前日のFOMCを受けてドル安でスタートするも途中で流れは反転。投信設定などがドル下支えに。欧米は土地公示価格の話から一時円買い先行するも影響は限定的なものに。一巡後はむしろ円反動安。	・独財務省月報「米景気鈍化とユーロ相場上昇のリスクが見られる」 ・07年土地公示価格が16年ぶりの上昇示す ・2月の米景気先行指数 0.5%	・日銀総裁「経済、物価情勢に応じて徐々に金利を調整していく」 ・藤井財務次官「長期金利動向、引き続き十分注視していきたい」 ・ジッ独IFO所長「ECBは追加利上げを実施すべきでない」	117.43 118.32 117.25 118.13	157.32 157.65 156.83 157.47	寄付 安値 高値 終値
07/03/23 (金)	東京はユーロの値連に関する噂などからクロス中心に円買い優勢。しかし下げ切れずに結局行って来い。欧米は英海軍兵士捕縛の報道からドル安でスタート。しかし発表された米経済指標が良好で流れが反転。	・1月の全産業活動指数0.7% ・イランが英海軍兵士を捕縛 ・2月の米中古住宅販売件数669万戸	・渡辺財務官「外貨準備の通貨分散、多様化は考えていない」 ・FF連銀総裁「インフレ期待は将来低下」	118.11 118.26 117.40 118.12	157.47 157.64 156.42 156.90	寄付 安値 高値 終値
07/03/26 (月)	東京は年度内最終週ということもあってかビット強く押し目買い意欲旺盛。ドルは底堅く推移。欧米は欧州要人の発言は円安を懸念するものがなく一応の安心感。ただ米経済指標悪化でドル売りへ。	・2月の日銀決定会合議事録要旨「今回利上げ後も極めて緩和的な金融環境を維持」 ・2月の米新規住宅販売84.8万戸	・スワギECB理事「為替レートに関する懸念は行き過ぎ」 ・ルクセンブルグ首相「為替に関してはG7声明に沿う」 ・独経済相「ユーロ高は懸念せず」	118.04 118.43 117.64 118.13	156.67 157.49 156.30 157.47	寄付 安値 高値 終値
07/03/27 (火)	東京は新規材料がなかったこともあり狭いレンジ内での膠着相場。目立った動意はほとんどなし。欧米は発表された米経済指標が弱いものになったうえイランによる攻撃の噂などからドルが湧かない。	・3月の独IFO景況指数107.7 ・3月の米消費者信頼感指数107.2、同リッチモンド連銀製造業指数 10 ・イランが米軍に攻撃の一部噂(のちに当局から否定される)	・クリシヤ中銀総裁「ユーロ圏の金利、必ずしもビークに達していない」	118.23 118.39 117.70 117.82	157.59 158.02 157.19 157.30	寄付 安値 高値 終値
07/03/28 (水)	東京はイランに絡む2つの噂を背景にドルが急落。リハトと重なり、対円では1円近くも値を下げた。欧米は注目されたFRB議長の証言でスタグレーションの公算を示唆したことでドルは一時大幅統落へ。	・4月の独GfK消費者信頼感指数4.4 ・第4四半期英GDP確定値0.7% ・2月の米耐久財受注2.5%	・「イラン軍がペルシャ湾の米艦2隻に向けて攻撃」「イランに拘束された英兵15人救出のため英国が軍隊派遣」-の噂(いずれも否定される) ・FRB議長「経済見通しの不透明感が高まった」	117.97 118.00 116.38 116.85	157.49 157.53 155.52 155.56	寄付 安値 高値 終値
07/03/29 (木)	東京はドル統落でスタートするも途中で下げ止まり。切り返すと一転高値をうかがう展開に。欧米は発表された米GDPが予想以上の改善を示したうえ米株高もありドルが強含み。高値引け。	・3月の独失業率9.2%、同失業者数410.8万人 ・台湾中銀が0.125%の政策金利引き上げ ・第4四半期米GDP確定値2.5%、同コアPCE価格指数確定値1.8%	・藤井財務次官「外準の通貨構成の変更する考えはない」 ・ミアボリス連銀総裁「住宅市場全体におけるサブプライム市場の割合は小さい」	116.93 118.10 116.67 118.10	155.62 157.48 155.35 157.44	寄付 安値 高値 終値
07/03/30 (金)	東京は期末末日ということもあり激しい上下動。しかしレンジ的には117円後半中心に留まる。欧米は良好な一部米経済指標を受けてドル高でスタート。しかし米保護主義復活思惑などから流れ一変。	・2月の全国消費者物価 0.3%、同鉱工業生産 0.2% ・2月の米個人所得0.6%、同個人支出0.6%、同コアPCE価格指数0.3%、同建設支出0.3%、3月シカゴ購買部協会指数61.7、同シカゴ大消費者信頼感指数88.4	・米商務省が「中国製の紙製品輸入について相殺関税を適応する仮決定」下す ・週末に米軍がイランを攻撃する、との噂あり ・イラン中銀総裁「米ドルでの輸出石油決済を全面停止する方針」	118.12 118.40 117.21 117.81	157.43 157.58 156.64 157.35	寄付 安値 高値 終値

\* 製作・著作;「FXニュースレター」

URL; <http://www.fx-newsletter.com/>